

「エロ系Vチューバーに中出しされてしまった件について  
　　ゝガチ恋おまんこ推し!ゝ」

#### ■キャラクター詳細

●木笠イヲリ 年齢 21 身長 160 cm

一人称..僕

二人称..君

●ヒロイン・年齢 23

V活動のチャンネルモデレーターorマネージャー

#### ●前置き

出会いはVtuber事務所の社員(ヒロイン)とクリエイター(木笠イヲリ)。

仕事で長い時間を共に過ごすうちに【木笠イヲリ】はヒロインに想いを寄せてしまう。

ヒロインは【木笠イヲリ】への姿にガチ恋している...が、

自身に想いを寄せられてるなんて微塵も思っていない。

心情的にはただのオタク。

【木笠イヲリ】はヒロインに対しかなりのワガママを要求する。

そんな日常の中、【木笠イヲリ】いつものワガママ発動。

「動画投稿前のチェック、データ送信だと時間かかるから、今!なう!家まで確認しに来  
てほしいー」

とヒロインを【木笠イヲリ】宅に緊急招集。

もはや慣れたこなヒロイン。【木笠イヲリ】宅へ向かう。

26

■トラックー

27

○収録区切り①

28

■場所：木笠イヲリの事務所(兼イヲリ宅)

29

30 ヒロインがゲーミングチェアに座り、ヘッドフォンをして木笠イヲリが投稿予定の動画の  
31 チェックをしている。

32 以下、ヒロインが聞いている動画の音声。挿入した直後のクライマックス。

33

34 DHM:⑦

35 木笠イヲリ「はっ、僕のチンポ、ゼーんぶ、はいたたよ?」

36

37 木笠イヲリ「(ピストン弱しながら)はあ、君のマンコ、ぬるぬるぐちゃぐちゃで…  
38 ん、うれしそうにきゆうきゆう、僕のチンポ締め付けて、かわいいね♡」

39

40 木笠イヲリ「やっぱり、耳、気持ちよかった? (左耳 DHM:③をつーと指で撫でる)はっ、  
41 ちよつと耳、撫でただけで中がきゅっ、ってしたよ? 期待してる?」

42

43 木笠イヲリ「素直に頷いてかわいいなあ。

44 じゃあ、お望み通り、もつとたくさん、かわいいがっつあげるね?」

45

46 木笠イヲリ「(ピストン弱+両耳を揉み擦り 10秒)」

47

48 木笠イヲリ「(ピストン弱程度、耳元で囁きつつ、残りの左耳はさすり揉み)はあ、すっ。  
49 耳触っただけでビクビクしちゃって、耳よわわちゃん♡ かわいい♡」

50

51 木笠イヲリ「ほらほら、ちつきみたいに、指で耳を、ぐにぐにわわわ…  
52 気持ちいいじゅっ」

53

54 木笠イヲリ「僕も、マンコの中、うねっつてきもちいいよ?」

55

56 木笠イヲリ「耳、もつと、違う刺激したら、どうなっちゃうのかなあ?」

57

58 木笠イヲリ「ふー(⑦ 耳の中に息吹きかけ)」

59

60 木笠イヲリ「んふ、いい声、でたね。息で耳の中、犯されてるみたい? 反応、かわいくっ  
61 て、たまんないなあ」

62  
63 木笠イヲリ「ほう、ふー(何度か息を耳の奥に吹き込み)」  
64

65 木笠イヲリ「あれえ？ 腰、自分からねだるように動かし……。  
66 もしかして、息だけじゃ足りない？ 耳の奥まで舌でじゅぼじゅぼしてほしい？  
67 それとも、マンコの奥をもっと激しく、突いてほしい？」  
68

69 木笠イヲリ「迷っちゃって、答えられないかな？ なら…  
70 どっちもいっぺんに、叶えてあげるね。ほうら、耳の奥まで、舐めてまわしてあげる♡」  
71

72 木笠イヲリ「(耳舐め＋ピストン中。舐めてない方の耳は指の腹で撫で回す。10秒)」  
73

74 木笠イヲリ「(耳舐めしながら)はぁ、ん、耳、舐めたら、ん、めっちゃ締めてきて、  
75 はぁ、えっち♡ 僕もすっごい、興奮しちゃっ♡」  
76

77 木笠イヲリ「(右耳舐め＋左耳擦り＋ピストン中)ほうほう、片耳は、舌で、片耳は指で、  
78 マンコはチンポで、ジューポジューポしちゃうよ」  
79

80 木笠イヲリ「(右耳舐め＋左耳指出し入れ＋ピストン中 10秒)」  
81

82 木笠イヲリ「んー、はぁ、きもち、きもちいーよ？ きもちいい、よね？  
83 上も下もぐゅぐゅちゅって、音してっ、はぁ、えっろ♡」  
84

85 木笠イヲリ「今度は舌と指、反対にしてあげる、ね？」  
86

87 DHM:③

88 木笠イヲリ「(左耳舐め＋右耳指出し入れ＋ピストン中、強 10秒)」  
89

90 木笠イヲリ「もっと、感じて？ あぁ、いい声。えろい声、チンポに響くっ。  
91 もっと、はぁ、鳴って♡」  
92

93 木笠イヲリ「(左耳舐め＋右耳指出し入れ＋ピストン強 15秒)」  
94

95 木笠イヲリ「あー、はぁっ、気持ちよくなって、もうとまんないっ」  
96

97 木笠イヲリ「(耳元で)好きだよ、好き、大好き♡ 好き好き好き好き好き♡」

98

木笠イヲリ「君の中、僕でいっぱいにして♡ 中に、出しちゃう、からね♡」

100

木笠イヲリ「拒否権なんか、ないよっ、もう、イキそう、だしっ」

101

木笠イヲリ「ね、せっかく、だし、一緒に、イこっ？ ラストスパート、かける、からっ」

102

木笠イヲリ「（左耳舐め＋右耳指出し入れ＋ピストン強 10秒）」

103

木笠イヲリ「はっ、イクっ」

104

中に射精。

105

DHM:③

106

木笠イヲリ「はー……………きもちよかった。君は？ 気持ちよかった？」

107

木笠イヲリ「ふふ、うれしいなあ。でも、そーんなえっちに気持ちよかった♡ なんて言われると、また勃っちゃう。すべ、もっともっと感じさせたくなっちゃうなあ」

108

木笠イヲリ「ねえ、もういいかい、しよ？ 今度もたくさん、気持ちいいとこ、触ってあげるから、わ」

109

SE:ヘッドフォンを外す音。

110

○収録区切り②

111

マイク変更(KU100へ)  
DHM:⑦(⑥あたりから)

112

木笠イヲリ「気持ちよかった？」

113

114

115

116

117

118

119

120

121

122

123

124

125

126

127

■トラック2

128

○収録区切り②

129

■場所：木笠イヲリの事務所(兼イヲリ宅)

130

ヒロインがゲーミングチェアに座りヘッドフォンで投稿動画を最終チェック中。イヲリがヘッドフォンを外して横から囁きかける。ヒロインは驚いてイヲリを振り返ったところ。ニヤニヤするイヲリ。

131

ニヤするイヲリ。

132

ヒロイン「もう、びっけりするから部屋に入る前にノックしてー」

133

ヒロイン「もう、びっけりするから部屋に入る前にノックしてー」

134

DHM:⑧

135

木笠イヲリ「ノックしてよ、って、僕の家だし。」

136

木笠イヲリ「ノックしてよ、って、僕の家だし。」

137

木笠イヲリ「ノックしてよ、って、僕の家だし。」

138

ヘッドフォンしてあれだけ集中してたらヤー」

139

ヘッドフォンしてあれだけ集中してたらヤー」

140

ヒロイン「むぐぐ(言葉に詰まる)」

141

ヒロイン「むぐぐ(言葉に詰まる)」

142

木笠イヲリ「ま、投稿用動画のチェックが君の仕事だもんね」

143

木笠イヲリ「ま、投稿用動画のチェックが君の仕事だもんね」

144

木笠イヲリ「ま、投稿用動画のチェックが君の仕事だもんね」

145

木笠イヲリ「ま、投稿用動画のチェックが君の仕事だもんね」

146

木笠イヲリ「で、僕の新作どう？(にやにや)また1人えっちに使えそう？」

147

木笠イヲリ「で、僕の新作どう？(にやにや)また1人えっちに使えそう？」

148

ヒロイン「え？ なんて知って……?！」

149

ヒロイン「え？ なんて知って……?！」

150

木笠イヲリ「前の動画編集のとき、してるの見ちゃった♡」

151

木笠イヲリ「前の動画編集のとき、してるの見ちゃった♡」

152

木笠イヲリ「前の動画編集のとき、してるの見ちゃった♡」

153

木笠イヲリ「前の動画編集のとき、してるの見ちゃった♡」

154

木笠イヲリ「前の動画編集のとき、してるの見ちゃった♡」

155

木笠イヲリ「前の動画編集のとき、してるの見ちゃった♡」

156

木笠イヲリ「前の動画編集のとき、してるの見ちゃった♡」

157

木笠イヲリ「前の動画編集のとき、してるの見ちゃった♡」

158

木笠イヲリ「前の動画編集のとき、してるの見ちゃった♡」

159

木笠イヲリ「前の動画編集のとき、してるの見ちゃった♡」

160

木笠イヲリ「前の動画編集のとき、してるの見ちゃった♡」

161

木笠イヲリ「前の動画編集のとき、してるの見ちゃった♡」

162

木笠イヲリ「前の動画編集のとき、してるの見ちゃった♡」

163

木笠イヲリ「前の動画編集のとき、してるの見ちゃった♡」

164

木笠イヲリ「前の動画編集のとき、してるの見ちゃった♡」

165

木笠イヲリ「前の動画編集のとき、してるの見ちゃった♡」

166

木笠イヲリ「前の動画編集のとき、してるの見ちゃった♡」

167

木笠イヲリ「前の動画編集のとき、してるの見ちゃった♡」

168

木笠イヲリ「前の動画編集のとき、してるの見ちゃった♡」

169

木笠イヲリ「前の動画編集のとき、してるの見ちゃった♡」

170

木笠イヲリ「前の動画編集のとき、してるの見ちゃった♡」

171

木笠イヲリ「前の動画編集のとき、してるの見ちゃった♡」

163  
164 「ロイン」ん、うそでしょーっ！ やっきの見られてたなんて……っ」  
165

166 木笠イヨリ「けど、あゝ、見てる！うちの身にもなってる」  
167

168 木笠イヨリ「ホンモノの僕がすぐそばにいるのに！人えっちするなんて…  
169 許せないんだよねー」  
170

171 「ロイン」へっ？」  
172

173 DHM:①寄っ

174 木笠イヨリ「だから今日は、ホンモノの僕がたくさんきもちよくしてあげる♡」  
175

176 SE:椅子の軋む音。  
177

178 木笠イヨリ「まずは、キスから、ね？」  
179

180 木笠イヨリ「(ディープキス 10秒)」  
181

182 「ロイン」ん、はあ……うちよ、ちよっとまっっー」  
183

184 抵抗する「ロイン」。  
185

186 SE:椅子の軋む音。  
187

188 木笠イヨリ「なーに？ まだぜんぜんキスしたりないのに、止めないでよー」  
189

190 「ロイン」いや、そっじゃ、なくて！ ガチ恋勢だとしてもVと中の人は違うから！  
191 こんなの、だめ、ぜったいー」

192 木笠イヨリ「イヨリのガチ恋勢なのは知ってたけど。Vはよくって僕はダメなわけ？」  
193

194 「ロイン」あゝ、いや、リアルイヨリが私に迫ってくるのは解釈違いといえますかっ！  
195 Vは夢だから許されるっというかつ」  
196

197 木笠イヨリ「ホンモノの僕は解釈違いで、Vの僕は夢だから許されるんだあ。そっかあ。  
198 そっやってVばかりみて」

199  
200 木笠イヲリ「Vじゃなくて“僕”を見てみ」  
201  
202 SE:椅子の軋む音。  
203  
204 木笠イヲリ「ううやって手首抑えてたら、椅子から立てないでしょ〜」  
205  
206 DHM:①→⑦(右耳)  
207 木笠イヲリ「そんなにVが良いって言うなら、さっきの動画と同じようにあげるね♡」  
208  
209 耳元に口を寄せる。  
210  
211 木笠イヲリ「(耳舐め 10秒)」  
212  
213 木笠イヲリ「はあ、好きだよ。大好き」  
214  
215 木笠イヲリ「(耳舐め 10秒)」  
216  
217 耳舐めながら  
218 木笠イヲリ「んちゅっ、動画じゃ感じられないホンモノの息や舌の感触はどっ〜」  
219  
220 ヒロイン「はっ、やっ、んっ」  
221  
222 木笠イヲリ「かわいい声でできたねー。動画とホンモノ。  
223 どっちがいいか、だんだんわかってきたんじゃない?」  
224  
225 木笠イヲリ「ほら、感じて感じっ♡」  
226  
227 木笠イヲリ「動画とホンモノ。勿論ホンモノの方がイイに決まってるよね?♡」  
228  
229 ヒロイン「んっ〜っ、どもっ」  
230  
231 耳舐め止めて、顔を上げる。  
232  
233 DHM:⑧  
234 木笠イヲリ「まだ口答えるの? 耳だけじゃ足りない?」

235  
236 木笠イヲリ「そついえば、前に1人エッチしてたのは乳首責めだったよね」  
237  
238 SE:シャツのボタンを外す音。  
239  
240 Kロイン「えっ、ま、待ってー」  
241  
242 SE:ヒロインが抵抗し椅子が軋む音。  
243  
244 木笠イヲリ「待たないよ? 抵抗するなら服で手首、縛り付けちゃお♡」  
245  
246 SE:縛る布ズレの音。  
247  
248 木笠イヲリ「それでもっ、かわいいおっぱいも隠したりできないね」  
249  
250 木笠イヲリ「」のまま、あの乳首責め動画も再現してあげる♡  
251 ほら、まずは焦らすように乳首の周りを指で撫でてあげるよ」  
252  
253 木笠イヲリ「もどかしい? 乳首、ピンって勃ってきたよ? 触ってほしい?」  
254  
255 木笠イヲリ「きゅっ、て乳首、抓んであげる♡」  
256  
257 乳首抓んで。  
258 木笠イヲリ「抓んだら、いい声でたね? そんなに触ってほしかったんだ?  
259 もっといじってあげるね? ふふ、乳首「リ「リ」。かわいいね♡」  
260  
261 DHM:①→①(胸の位置)  
262 木笠イヲリ「乳首物欲しそうにぷっくっくしてる。  
263 舐めたらもっと気持ちよくなっくくれるかな?」  
264  
265 DHM:②(右胸)  
266 木笠イヲリ「(乳首舐め 10秒)」  
267  
268 乳首舐めながら  
269 木笠イヲリ「1人でしてる時、こっという事想像してた?」  
270



271 木笠イヨリ「あの動画だと、片方の乳首は舐められ続けて、もう片方は指でこねくり回や  
272 れるんだよね。こんな風に」  
273  
274 木笠イヨリ「ねえ、実際やられてどう？ 背中反らせて、おねだり？  
275 やっぱ舐められるの気持ちいいでしょ」  
276  
277 木笠イヨリ「Vの声聴いてるだけの1人えっちじゃ、乳首舐める感覚は味わえないもんね」  
278  
279 木笠イヨリ「ほら、もっと感じて♡」  
280  
281 木笠イヨリ「Vじゃなくって、僕だけ好きになっ♡」  
282  
283 木笠イヨリ「僕なら君のこと、いつでも感じさせてあげる♡」  
284  
285 木笠イヨリ「好き好き好き♡」  
286  
287 ヒロインがビクビク体震わすと、乳首から離れて。  
288  
289 DHM:①  
290 木笠イヨリ「ふふっ、ビクビクって体跳ねた〜。乳首だけでイッたの？」  
291  
292 木笠イヨリ「イッテなくても、すっごく感じてたね♡」  
293  
294 木笠イヨリ「ほら、パンツびちよびちよ。ズボンの上からだってわかるよ。  
295 じつじつ触ればわー」  
296  
297 ズボンの上から手マン。  
298  
299 木笠イヨリ「ね？、ぐちゃぐちゃ音出して。  
300 ああ、ズボン越しじゃ刺激が少なくなってもおかしい？、今、脱がしてあげるよ」  
301  
302 ズボンとパンツ脱がす。  
303 SE:服ずれの音。  
304  
305

306 ○収録区切り③  
307 濡れたマン〇に指滑らせろ。  
308  
309 木笠イヲリ「耳と乳首で、〇までマン〇濡らしちゃって、えっち♡」  
310  
311 木笠イヲリ「Vの声、聴きながらー人えっちで、こんなに濡れたことある？」  
312  
313 木笠イヲリ「ほーら、べちゃべちゃマン〇、指でかき混ぜちゃっぞ♡」  
314  
315 木笠イヲリ「(手マン弱 10秒)」  
316  
317 木笠イヲリ「(手マンじつつ)自分の指と、僕の指、もちろん僕の指のが気持ちいいよね？」  
318  
319 ヒロイン「う、うんっ、はあ、ぜん、ぜん、ちがうっ、あっんんっ」  
320  
321 木笠イヲリ「ホント？ 素直に答えてくれるようになってうれしいな」  
322  
323 木笠イヲリ「じゃあ、もっと気持ちよくさせてあげるね？」  
324 僕のことだけ考えられるように♡」  
325  
326 木笠イヲリ「(手マン強 10秒)」  
327  
328 木笠イヲリ「ふふ、腰浮いて気持ちよそぞろ。ほら、1人えっちとは違う僕の指でイッて？  
329 ほらほら、くりも、中の一番気持ちいいところもたくさん刺激してあげる」  
330  
331 木笠イヲリ「(手マン強 15秒)」  
332  
333 ヒロインがイクと手を止めて。  
334  
335 木笠イヲリ「気持ちよかった？」  
336  
337 木笠イヲリ「後は、挿れるだけだね。僕のチンポ」  
338  
339 SE:ズボンを下ろす音。  
340 マン〇にチンポを擦りつけながら。  
341

342 木笠イヲリ「欲しい？ でもその前に……僕のこと、好きって言う？」  
343

344 木笠イヲリ「Vのイヲリが好きって聞いてから、ずっとムカついてたんだ」  
345

346 木笠イヲリ「僕も、ううん、僕だけ、君から好きって言われたい」  
347

348 木笠イヲリ「Vに恋なんてしてないで、僕にだけ恋して♡」  
349

350 木笠イヲリ「恋人えっちしょ♡ “僕”と」  
351

352 木笠イヲリ「頷くだけじゃなくって、好きって口で言うってほしいな？」  
353 じゃないと、いつまでもチンポはいらないよ？。もう焦れてもどかしいんでしょ？。」  
354

355 ヒロイン「あっ、は、イヲリが、んん、好きっ」  
356

357 木笠イヲリ「よく言えました♡」  
358

359 木笠イヲリ「両思いで、大事な処女、僕にちよーだい♡」  
360

361 ヒロイン「あ、ま、待って、はあ、ゴムはっっっ」  
362

363 木笠イヲリ「ゴムがいいの？。でも……やーだ♡」  
364

365 挿入。  
366

367 木笠イヲリ「ゴムとかVとか、僕と君の間になにか挟まるなんてぜったいやだからね♡」  
368

369 木笠イヲリ「ナマでホンモノの僕のこと感じて？」  
370

371 木笠イヲリ「(ピストン弱 10秒)」  
372

373 ピストンしながら。

374 木笠イヲリ「君のマンコ、ぬるぬるちやべちやべ、ん、  
375 うれしそっけきゅっきゅっ、僕のチンポ締め付けて、かわいいね♡」  
376

377 ヒロイン「ん、そのセリフ……っ」

378  
379 DHM:①→⑦(右耳)  
380 木笠イヲリ「ふふふ、さっき聞いたばかりのセリフだもんね？」  
381 じゃあ、セリフだけじゃなくて、耳責めもおんなじようにしてあげるね？」  
382  
383 右耳舐め＋左耳指出し入れ＋ピストン中から強。  
384 木笠イヲリ「ほうほう、片耳は、舌で、片耳は指で、マンコはチンポで…  
385 ジュポジュポしちゃっよ」  
386  
387 木笠イヲリ「(右耳舐め＋左耳指出し入れ＋ピストン強 10秒)」  
388  
389 木笠イヲリ「反応、いゝねっ！ はあ、かわいい。ホントにかわいい♡」  
390  
391 木笠イヲリ「今度は舌と指、反対にしてあげる、ね？」  
392  
393 DHM:⑧(左耳)  
394 木笠イヲリ「(左耳舐め＋右耳指出し入れ＋ピストン強 10秒)」  
395  
396 以降、時々耳舐め、耳いじり。ピストン強のまま。  
397 木笠イヲリ「はあ〜……好きだよ。大好き。すぎすぎすき♡ だ〜いすき♡」  
398  
399 木笠イヲリ「僕は君だけ、愛してるよ」  
400  
401 木笠イヲリ「動画じゃ聞けない。ホントの愛の言葉だよ」  
402  
403 木笠イヲリ「演技じゃない愛してるなんて、君にしか、言わないんだから」  
404  
405 木笠イヲリ「ふふっ、すっ」。好きって、愛してるって、はあ、言っただにすっくもるっ」  
406  
407 木笠イヲリ「はあ、好きだよ。好き。大好き♡」  
408  
409 木笠イヲリ「んん、はあ、ちもちいっつ。マンコの中、最高。  
410 はあ、もっつ突きたくなっっちゃっ」  
411  
412 耳いじり止めっ。  
413 木笠イヲリ「(ピストン強 10秒)」

414

DHM:①

415

木笠イヲリ「はー、もうイキそー♡ でも、はあ、恋人えっちなら、キスもしない、と、ね？」

416

木笠イヲリ「(ディープキス+ピストン強 15秒)」

417

ピストンしながら。

420

木笠イヲリ「ふー、あー、もう、がまん、できないっ」

421

422

木笠イヲリ「中に、出すよ♡」

423

424

木笠イヲリ「だーめ♡ はあ、んっ、君の一番深い、ところまで、僕ので、染めたいだもん」

425

426

木笠イヲリ「もう、Vのイヲリを見たって、声を聞いたって、

427

ホンモノの、僕だけを、君の子宮が、思い出せるように」

428

429

木笠イヲリ「パンパンにしてあげるね♡」

430

431

(ピストン 強 10秒)

432

中出し射精。

433

434

DHM:②(右耳)

435

耳元でわわやぐ。

436

木笠イヲリ「はあ、すっく、きもちよかったー……」

437

438

木笠イヲリ「どう？ 僕のこと、だけ、好きになった？」

439

440

木笠イヲリ「まだVも良いって言うなら……考えがあるよ？」

441

僕のことだけ好きになるまで、抱き潰して、たくさん中に出してあげる。  
子宮の奥の奥まで、染めてあげるからね？」

442

443

444

木笠イヲリ「今度はベッパっ♡」

445

446

木笠イヲリ「Vよりもっと、いい夢見せてあげる♡」

447

448

449

END